



広報 北広島

・主な内容・

- 特集 地域を守る 消防署大曲出張所移転……………②
- みんなの広場……………④
 - 人の森／伊野昌司さん
 - 北広ひとつまみ／荒井養蜂場
- 特集 介護支援ボランティア……………⑥
- お知らせ……………⑧
- ふれあい通信……………⑱
 - まちのチカラ／あゆみの会

きたひろ130年記念事業・きたひろしま30kmロードレース

2014. 8

8月1日運用開始

地域を守る

消防署大曲出張所移転



消防署大曲出張所・消防団第3分団詰所が移転しました。

移転の経緯

旧消防署大曲出張所は昭和55年に建てられました。当時の大曲・西部地区の人口は、約1900世帯・6000人で、現在では人口が約8800世帯・2万3000人と、当時の約4倍に増加しています。

庁舎は建設当時の人口に合わせた造りのため、老朽化や敷地が狭いなどの課題を抱えていました。人口増加や大型商業施設の進出で交通量が増え、出勤の妨げになり交通渋滞の解消が急務でした。

今回の移転で出勤の際リスクが最小限に抑えられます。また新たな庁舎は多機能化により、地域住民の安心安全な生活に貢献できると考えています。

地域の防災拠点として

自家発電設備を備える事により、災

害時などの長時間停電にも、対応できます。

また地元消防団の活動拠点としてのスペースも確保され、訓練や歳末警戒など、日頃の警戒活動に適した施設となりました。

新庁舎の施設概要

鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積約2800㎡で副訓練棟を含めた建築面積は約890㎡です。

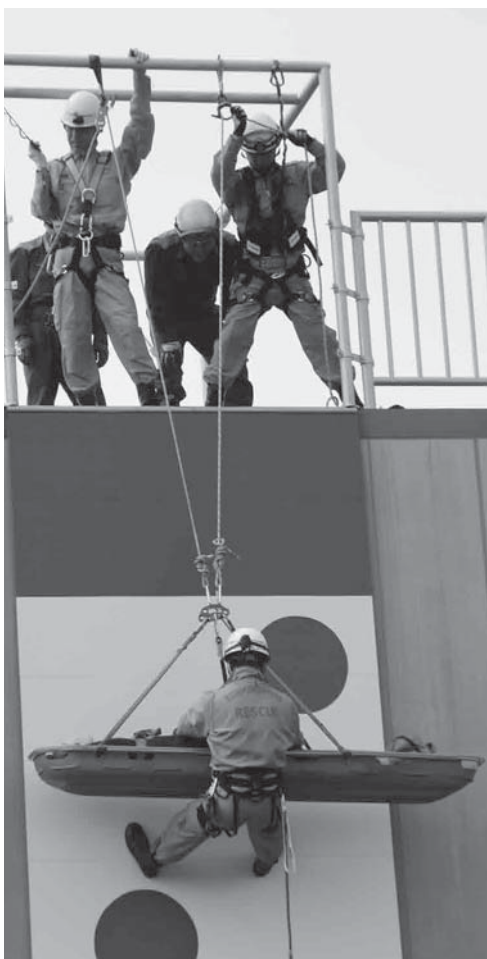
①自家発電設備の設置

停電時において、通信機器などの設備が使用でき、災害に強い施設としました。

②救助訓練棟の設置

全国消防救助技術大会の指針に基づいた施設を設置し、多様な災害・救助活動に対応する訓練が、可能となりました。高さ約10mからロープを使って降りる実践的な訓練なども、行うことができます。





- ③ 照明のLED化
節電や環境に配慮した設備です。
 - ④ 車両排気ガス強制排出装置の設置
車庫内で点検や整備を行う際、排気ガスを強制的に屋外に排出する装置を設置し、排気ガス吸入などの事故を防止する設備としました。
 - ⑤ オストメイト対応トイレの設置
非常時には住民対応可能な施設としました。
 - ⑥ 仮眠室個室化でプライバシーの確保
24時間勤務する職員の執務環境を整えました。
- 今後市民のみならず、安全で安心して暮らせるまちを目指して、消防活動の充実、強化に努めていきます。

施設名	消防署大曲出張所・消防団第3分団詰所		
所在地	大曲2-8		
施設構造	鉄筋コンクリート造2階建		
施設規模	敷地面積	2,775㎡	
	建築面積	庁舎棟 445.10㎡	副訓練棟 41.84㎡
	1階床面積	432.55㎡	32.90㎡
	2階床面積	397.02㎡	23.97㎡
	床面積合計	829.57㎡	56.87㎡
	延床面積(庁舎棟+副訓練棟)	886.44㎡	
施設内容	○庁舎棟：事務室、仮眠室、消防団事務室、防火衣庫、車庫、洗浄物品庫、電気室、ホース乾燥塔ほか ○訓練棟：ロープ登はん、はしご登はん ○副訓練棟：ロープ渡過訓練施設、訓練用連結送水管		



大曲地区連合町内会会長
麻生昌裕さん
(大曲緑ヶ丘)

安心して暮らせますね！

私が住んでいる大曲も、旧消防署大曲出張所庁舎ができた時代とは、人口もまちの規模も大きく変わりました。大型商業施設もできて、昔とは比べようのない多くの交通量となりました。火災や事故の際に支障を来さなければ良いと思っていました。今回新庁舎ができたことにより、各地区にも行きやすくなり、今まで以上に安心して市民が生活ができるのは何よりですね。





手稲山山頂で、仲間と400回登頂を祝った

手稲山に400回の登頂を果たした

伊野 昌司さん

いの・まさし
北進町在住。
50歳から登山を始める。道内外の山に登り続け、67歳でキリマンジャロ（標高5895m）の登頂に成功。市内の登山グループ「北広島ナマステクラブ」の会員でもある。



記念すべき日

6月29日、晴天の下、手稲山に北広島市の登山グループが登頂した。メンバー内最年長で85歳の伊野さんにとって、この日は特別だった。34年前から登り続けている手稲山に記念すべき400回目の登頂を成し遂げた。

「おめでとう」。仲間たちから祝福の声が上がった。

山に魅せられて

伊野さんが山登りを始めたのは道庁職員だった50歳のころ。職場の仲間と一緒に日高山系のアポイ岳に登ったことがきっかけだった。山頂からの景色や高山植物の美しさに感動し、すっかり山のとりこに。「一緒に登山をして、普段あまり会話がなかった年下の同僚とも打ち解けられました。本当に楽しかったですね」と懐かしむ。以来、道内外の山

目標に向かって 挑戦を続けたい

に登るようになった。

継続することが大事

どうして手稲山に登り続けたのか。それは小学生のころに手稲山口で暮らし、近くにもいつも見える手稲山が自分にとってふるさとの山だったから。登山を始めて10年ほどたった時に知り合った70歳くらいの男性が、手稲山の100回登頂を目指していると聞いた。自分も何かに挑戦しようと思い、手稲山登頂の記録を100回、200回と伸ばした。自分の限界を試そうと海外の山にも登り始めた。67歳でついにアフリカ大陸最高峰のキリマンジャロ登頂に成功した。「急いで登ると苦しくなるので、日数をかけて登りました。現地のガイドに付いてもらい、安全に気を配りながら無事成功することができました」。無理をしないことが大事だと語る。

北広島市の登山道整備にも携わった。大雪山国立公園パークボランティアとして自然の紹介や動植物保護、登山道整備などの活動をした時期もあった。

これまでの体験や、山の風景を俳句にしたためる俳人の一面も持つ。山の情報誌に作品が掲載され、賞も受賞した。作品の一つ「鳴き兔^{ウサギ} 岩に秋めく 日差しかな」。山を愛する思いが感じられる。

仲間に助けられ

伊野さんに試練が訪れたのは16年前。妻が病に倒れ介護が必要になった。日数のかかる登山旅行はやめて看病に努めた。家族みんなで献身的に介護をしたが、妻は4年前に亡くなった。半年ほどは気が抜けてしまい登山どころではなかった。そんな伊野さんを励まし再び山に誘ってくれたのはサークルの仲間たちだっ

た。少しずつ元気を取り戻したが、2年前に今度は自身が脳梗塞を患った。しかし病を乗り越え、また山に登るようになった。後遺症のため視野が狭くなったが、「そこに大きな穴があるよ」「岩が転がっているから気を付けて」と仲間たちが声を掛けてくれる。「おかげで、気兼ねなく登れます。本当にありがたいです」と笑顔を見せた。

北広島市の自然の中で

36年前から北広島に住んでいる。冬季は庭に餌場を作ると、アカゲラやヒヨドリなどの野鳥やエゾリスが集まってくる。「野生動物と触れ合えるのも、北広島に自然が多いからですね」。これからの目標は米寿まで山に登ること。挑戦を続けることが元気の源だそう。次はどんな快挙で驚かせてくれるのか楽しみだ。





市内の蜂場で蜂蜜を採集する様子

市内で採れるのはアカシアやクローバー、百花（ミツバチが多種類の花から集めた蜂蜜）の3種類。アカシアは爽やか、クローバーは濃厚と、花によって味が異なります。そのまま飲食したり、梅漬けに使うなど、用途はさまざまです。

8月3日は何の日でしょう？
 答えは、八と三つで蜂蜜の日。優しい甘さで健康にも良いと言われます。その蜂蜜を北広島市で作っている養蜂場があるのをご存じですか。
 大曲の荒井養蜂場は今年で創業75年。土幌町から北広島に移って42年です。ミツバチを放して蜜を集める蜂場が市内外に8カ所あります。うち4カ所は大曲など市内です。
 蜂蜜の採集から、製品化と販売まで家族3世代7人で行っています。ちょうど6月～8月は、道内で次々と花が咲き、1年のうちで最も忙しい時期。

定山溪の蜂場で採蜜する日は、早朝に出発します。遠心分離機で蜂蜜を取り出し、余分なごみなどを取り除き一斗缶に入れます。野外で防護服を着ての作業なので、暑い日は大変そうに思われますが！。
 「暑くても晴れてくれると助かります。寒くて雨が続き、花が落ちて、蜜が採れなくなりました。蜂も攻撃的になることがあるんですよ」と話すのは、総務担当の荒井賀奈子さん。ミツバチは花の季節が終わると、鹿児島県に運び、秋から春まで繁殖させます。
 社会見学で地域の小学生が店を見学に訪れることもあります。たくさん種類の花から蜂蜜が採れると知って、目を丸くするそう。
 北広島市の自然から作られた蜂蜜。一度味わってみてはいかがでしょうか。
 とところで、今回の「北広島とつまみ」はちょうど88回。偶然にもハチづくしとなりました。



採集した蜂蜜を運び込みます。家族のチームワークは抜群



北広島市
 北広島の草花で蜂蜜を作る

荒井養蜂場



まめ記者

542人の仲間
 と共に



大曲東小学校 6年
 室谷将太郎さん
 (児童会長)

今年度の大曲東小学校児童会は、「笑顔で元氣よく、あいさつをする活動」「いろいろな学年と仲良くなる活動」「きれいで、みんなが気持ちよく生活できる活動」「ボランティア活動」を重点としています。
 「笑顔で元氣よく、あいさつをする活動」は生活委員会が「挨拶ミッション」を行い、「きれいで、みんなが気持ちよく生活できる活動」は美化委員会が「ゴミ拾いミッション」というように、各委員会がアイデアを出し協力し合っています。「いろいろな学年と仲良くなる活動」は、今年から縦割り掃除をすることになり、ほかの学年との交流が増えました。また、「平和折鶴集會」では、高学年が低学年に折り鶴の折り方を教える場面もあります。
 このほかにも、仲良し運動、運動ミッションなどの活動もあります。これからもいろいろな企画を通して、友達の輪が広がって、全校児童542人が力を合わせて笑顔で過ごせる学校にしていきたいと思えます。



平和折鶴集會の様子

1 研修を受講 (いずれか1日)

制度の紹介や、活動する際の注意点などを説明します。研修終了後にボランティア登録をしてください。ボランティア手帳をお渡しします。

日時	会場
8月26日(火)	団地住民センター
27日(水)	中央会館 (市役所隣)
9月2日(火)	西の里会館
3日(水)	大曲会館
5日(金)	農民研修センター
10日(水)	中央会館 (市役所隣)

持ち物 介護保険被保険者証
申込み 電話か直接、高齢者支援課 (内線805)

2 介護保険施設でボランティア

例えば…

- 話し相手
- 催しの手伝い
- 食事の配膳
- 散歩や外出の手伝い など



3 1時間のボランティアで、1ポイント

ボランティアをした施設で、手帳に押印してもらいます。1日2ポイントが上限です。

4 集めたポイントを交換

1ポイントは100円
年に1回、10~50ポイントが交換可能

地場産品やクオカード、現金に交換することができます。

65歳以上の皆さん

あなたの**カ**を生かしませんか

介護支援ボランティア

市内の介護保険施設などで、ボランティアをしませんか？
ご自身の介護予防はもちろん、地域貢献にもつながります。ボランティアをするとポイントがもらえ、地場産品などと交換することもできます。
対象は、市内にお住まいで介護保険の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方です。事前に研修を受講し、登録をしてください。

健康の源は、ボランティア

ボランティアを始めたのは10年前。特別支援学校の警備員をしていたとき、先生たちの熱心な様子を見て感動したことがきっかけです。もともと世話好きというのもありました。



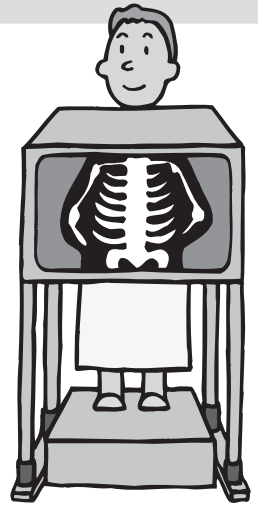
山田徹さん
(輝美町)

あまり積極的に人と話すタイプではなかったのですが、活動を通して変わりました。今では、ボランティアが生きがいです。78歳ですが、おかげで体も健康ですよ。

検 診 健 診 情 報

北海道対がん協会が
市内集団検診を実施します

申込期限は、
8月15日



送迎バスを運行します。
詳しくは、下表をご覧ください。

* () は、30歳代健診
と国保30歳代健診、国保
の特定健診、後期高齢者
健診、循環器健診の定員
です。

■日程・会場など

日程	受付時間	会場	定員	検(健)診の種類
9月6日(土)	午前7時～7時45分	夢プラザ	105人	胃がん、大腸がん、肺がん がん検診(胃・大腸・肺)だけを受診する方は、できるだけ、こちらの日程で受診してください。
	午前8時～8時45分			
	午前9時～9時45分			
7日(日)	午前7時～7時45分	団地住民センター	140人	
	午前8時～8時45分			
	午前9時～9時45分			
	午前10時～10時45分			
8日(月)	午前7時～7時45分	中央会館 (市役所隣)	140人	
	午前8時～8時45分			
	午前9時～9時45分			
	午前10時～10時45分			
9日(火)	午前7時～7時45分	西の里会館	70人	
	午前8時～8時45分			
	午前10時～10時45分	農民研修センター	35人	
21日(日)	午前7時～7時45分	東記念館	105人 (75人)*	
	午前8時～8時45分			
	午前9時～9時45分			
22日(月)	午前7時～7時45分	団地住民センター	105人 (75人)*	
	午前8時～8時45分			
	午前9時～9時45分			

■送迎バスの日程・発車時間・乗車場所

日程・検(健)診会場	乗車場所			検(健)診受付時間
	農民研修センター	夢プラザ	西の里会館	
9月21日(日)=東記念館	午前6時30分	午前6時45分		午前7時～7時45分
9月22日(月)=団地住民センター			午前7時30分	午前8時～8時45分
	午前8時30分	午前8時45分	午前9時30分	午前9時～9時45分

■対象・受診料

検(健)診の種類	対象 (年齢は受診日現在)	受診料(自己負担額)	
		住民税 課税世帯	非課税世帯 か70歳以上
胃がん (胃バリウム)	35歳以上	1,500円	500円
大腸がん (便の検査)	40歳以上	700円	200円
肺がん (胸部レントゲン)	40～64歳	400円	100円
	65歳以上	無料	
喀痰検査 <small>かくたん</small>	*喫煙年数や年齢などの条件があります。	800円	200円
前立腺がん (PSA(血液)検査)	40歳以上で昨年度未受診の男性(2年に1回)	600円	200円
エキノкокス症	小学3年以上	無料	
肝炎ウイルス	40歳以上で過去に受診したことがない方	1,000円	300円
30歳代健診	30～39歳で健診を受診する機会がない方	3,000円	1,000円
循環器健診	40歳以上で生活保護世帯の方	無料	

■申込方法

- 直接 市役所健康推進課と各出張所、団地住民センター、エルフィンパークで受け付け
 - 郵送 住所・氏名・生年月日・年齢・電話番号、希望する日時・会場・検(健)診、送迎バスを利用する方は乗車する日時・場所、生活保護世帯の方は「無料」、住民税非課税世帯の方は「非課税」と記入し、市役所健康推進課(〒061-1192住所不要)
- *電話での申し込みは受け付けません。
*国保30歳代健診と国保の特定健診、後期高齢者健診の申し込みについては、本紙5月1日号をご覧ください。



◆問合せ◆

- 国保30歳代健診・国保の特定健診
……国保医療課(内線693)
- 後期高齢者健診……国保医療課(内線730)
- その他の検(健)診…健康推進課(内線807)